

■ 本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	「必ず行なっていただく事」を示しています。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

屋根アタッチジョイントカバー・下枠ジョイント水切り・ビスセット

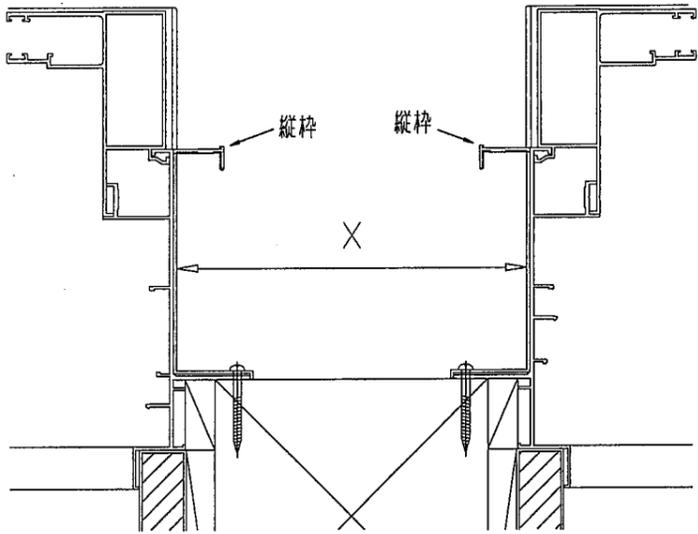
■ その他の梱包

連窓目板

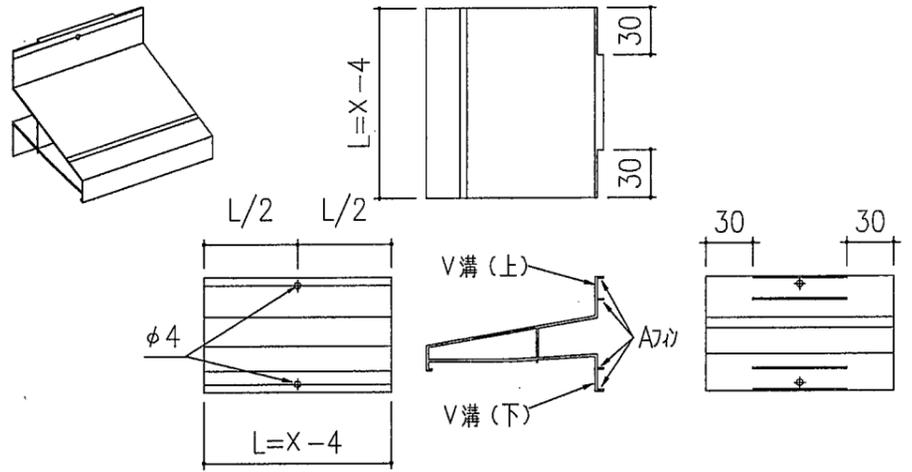
■ 下枠ジョイント水切りの切断・加工

・ 下記の手順で下枠ジョイント水切りを切断加工してください。

1. 連窓する縦枠間のX寸法を測り、下枠ジョイント水切りをX-4mmの長さに切断します。



2. X-4mmに切断した後、4本のAフィンを端部より30mm切り欠き、上下のV溝の約1/2程度の位置にφ4mmの孔をあけてください。



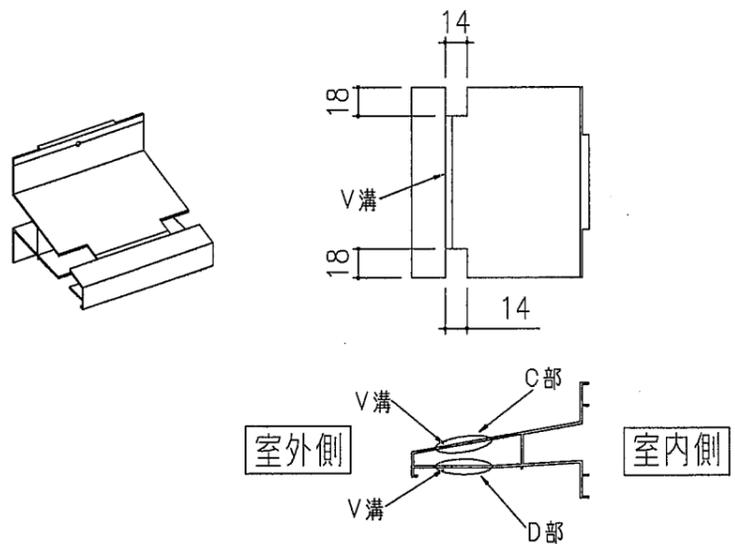
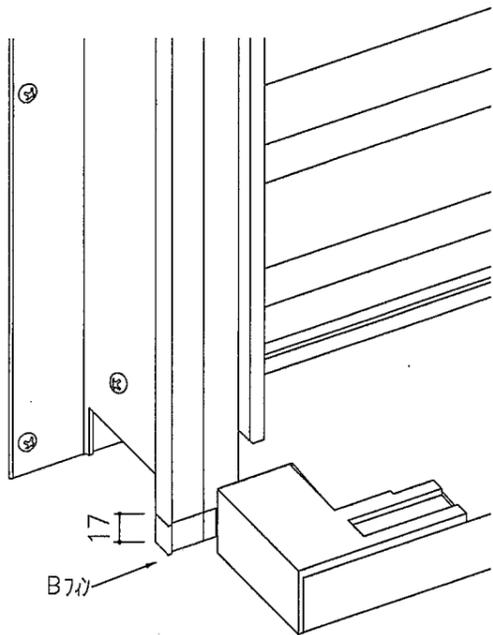
3. イ または ロ のどちらかの加工を行ってください。

イ. 縦枠のBフィンを下端から17mmカットしてください。

(ロの加工を行った場合は イの加工は不要です)

ロ. C、D部を室外側のV溝を基準にして図示の内容で切り欠いてください。

(イの加工を行った場合は ロの加工は不要です)

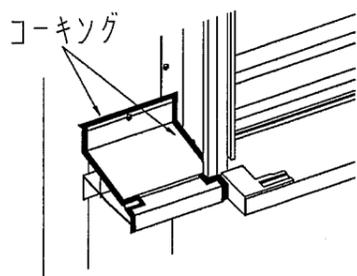
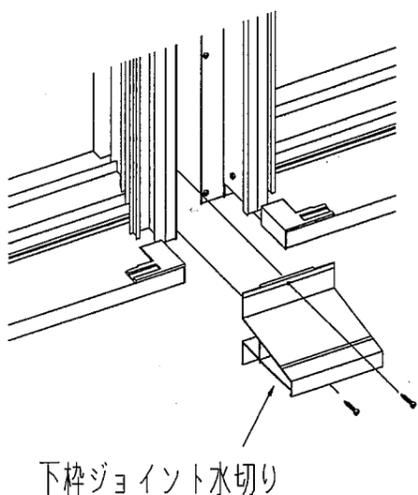


■ 下枠ジョイント水切り及び屋根アタッチジョイントカバーの取付

下枠ジョイント水切りの取付

1. 上記加工をした下枠ジョイント水切りをサッシの間に差し込み、木ビスで取付けてください。

2. 下枠ジョイント水切り取付け後、下図 **■**部をコーキングしてください。



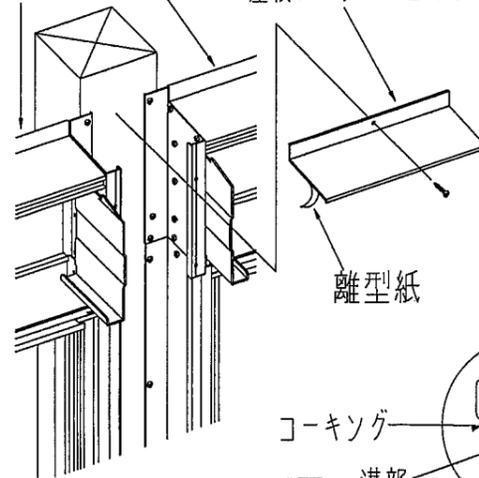
お願い

下枠ジョイント水切り取付け後、上図 **■**部を必ず連窓目板取付前にコーキングしてください。

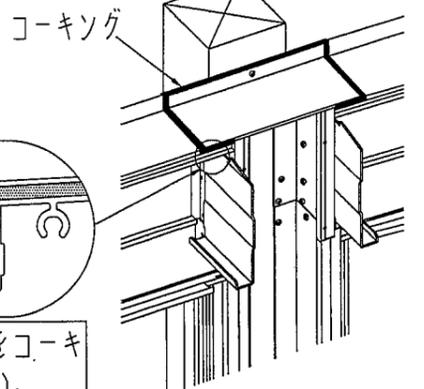
屋根アタッチジョイントカバーの取付

1. 屋根アタッチジョイントカバーの裏面左右のブチルテープ離型紙を剥がし、連窓するサッシの屋根アタッチメント部をつなぐように左右均等に貼り付け、木ビスで固定します。

屋根アタッチメント 屋根アタッチジョイントカバー



2. 屋根アタッチジョイントカバー取付け後、下図 **■**部をコーキングしてください。



お願い

屋根アタッチメントの溝をコーキングで埋めないでください。

■ 本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	「必ず行なっていただく事」を示しています。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

屋根アタッチジョイントカバー・下枠ジョイント水切り・ビスセット

■ その他の梱包

連窓目板

■ 連窓目板の切断

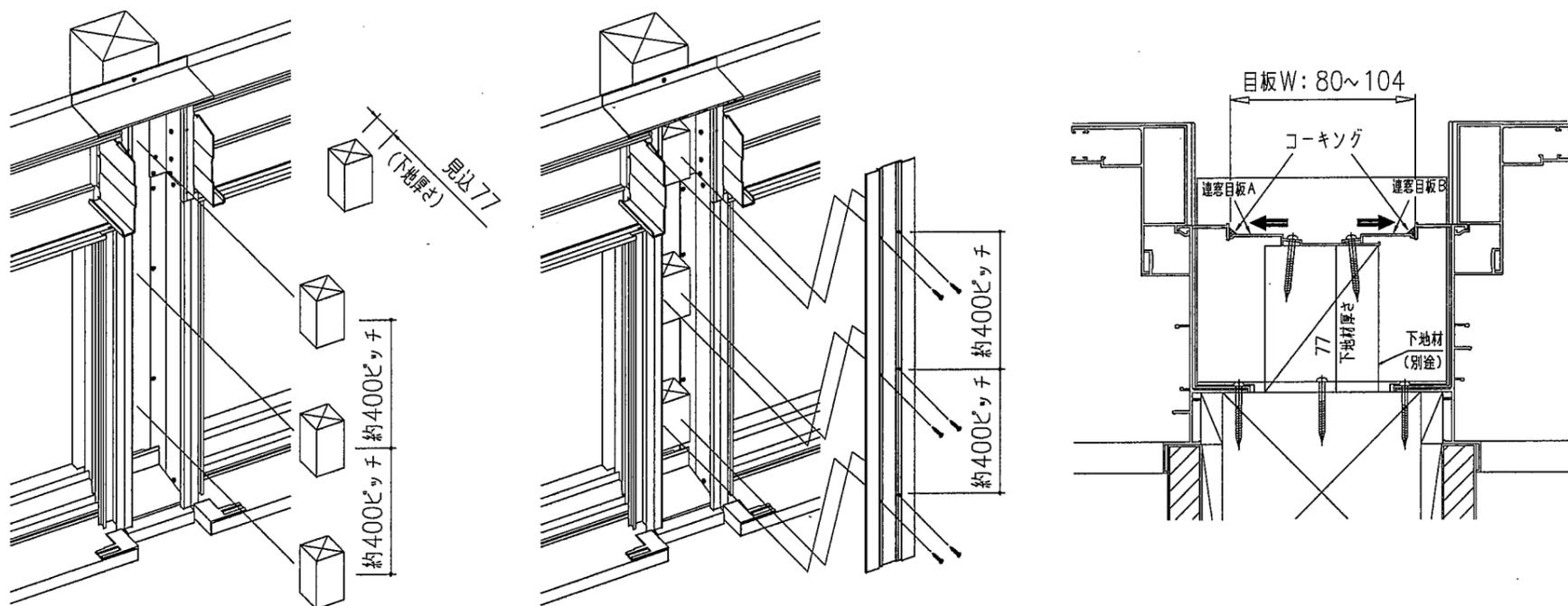
・下記の切断公式をもとに切断寸法を計算し、連窓目板を切断して下さい。

	マドタイプ		テラスタイプ
旧寸法体系	アルミ枠	アルプラ70枠	アルミ枠・アルプラ70枠
新寸法体系		アルミ枠・アルプラ70枠	アルミ枠・アルプラ70枠
切断公式	$L = \text{サッシ}H + 196$	$L = \text{サッシ}H + 201$	$L = \text{サッシ}H + 241$

※ 連窓目板に貼り付けてある切断寸法表ではなく、この切断公式にて部材切断寸法を算出してください。

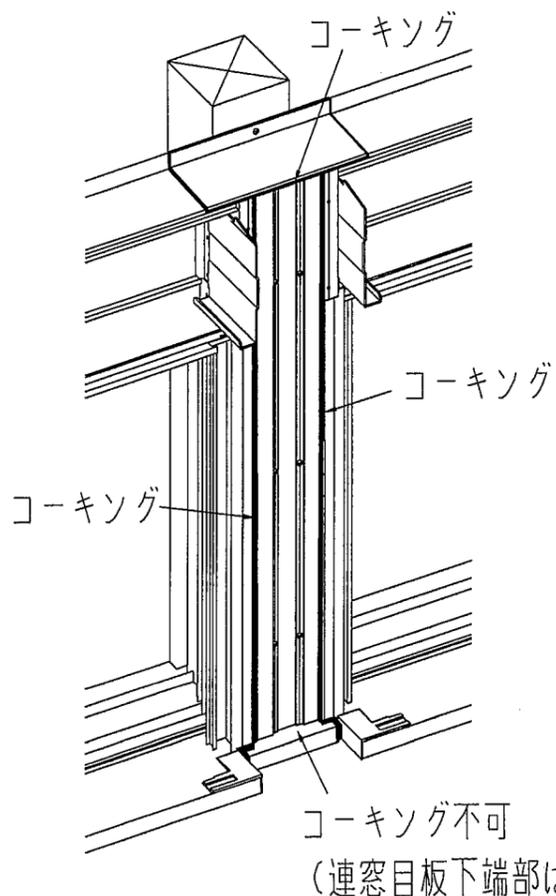
■ 連窓目板の取付

1. 屋根アタッチジョイントカバー・下枠ジョイント水切りの取付及びコーキング後厚さ77mmの下地材（別途）を約400ピッチ（又は通し）で取付けてください。
2. 連窓目板の取付は、連窓目板A、Bを順に差込、図示中の ← の方向に押付けた状態で400ピッチ（下地材と同ピッチ）に孔明けし、木ビスにて取付けて下さい。



3. 木ビスで取付た後、図示部をコーキングしてください。

下図の ■ 部をコーキングしてください。



お願い

連窓目板A、Bの取付け後、本取付マニュアルの中でコーキング指示のある箇所を必ずコーキングして下さい。